

目次

特集

エッコロ福祉基金助成報告	2・5
ミニ特集	
デポーおたかの森	6
活動ファイル	6・7
行政訪問事前学習会	
うちエコ診断士養成講座	
ブロック活動ファイル	8・9
大津ヶ丘マルシェ	
デポー・マルシェ@新松戸	
GM 自生ナタネ検査&上映会	
デポーひろば開催！	
L's café スタート！	
(株) 平牧工房生産者交流会	
千葉グループ &	
ちばこどもおうえんだん お知らせ	10・13
生活クラブ風の村 NPO クラブ	
VAIC-CCI セっけんの街 W.Co	
UWN ちば ちばこどもおうえんだん	
イベント・情報	14
夢風ニュース / 申込書	15
6月のデポー	16

デポーまつり

5月12.13日開催



8つのデポーで開催され、のべ29の生産者が消費材をアピール。ワーコレの食の8事業所が腕をふるった惣菜も並びました。38人の新しい仲間ができました。

組合員の皆さんに4月理事会の報告をします。

1. 2017年度のエッコロ福祉基金助成枠を決定しました。エッコロファンドは総額550万円を、障がい者支援事業（スワンベーカーリー）、生活相談・家計再生支援事業（くらしと家計の相談室）、アリエッティ基金、おたかの森小規模保育園事業の4福祉事業に拠出。エッコロ福祉助成は上限200万円とし、公益財団法人

3月の組織報告 総供給高 728,379,000円

総組合員数 40,336人（班5,343人 個別19,824人 デポー10,617人 経済共済4,552人）

ちばのWA地域づくり基金に申請し、冠ファンドとします。

2. ①遺伝子組み換えイネの第一種使用等に関して、②食品表示基準の一部を改正する内閣府令に関して、③電力の小売営業に関する指針に対してのパブリックコメント3件を提出します。

4. （仮称）虹と風ファームの推進とソーラーシェアリングの実現に向け、とんぼ舎福祉農園に太陽光発電設備を設置します。

発行 / 生活クラブ虹の街 発行責任者 / 木村庸子 編集 / 組織部

〒261-0011 千葉市美浜区真砂5-21-12 tel 043-278-7671 fax 043-279-7490 <http://chiba.seikatsuclub.coop/>

★本紙は古紙再生紙、ベジタブルインキを使用しています。

虹の街 Facebook はこちらから→



本部 043・278・7671/ センター柏 04・7134・3801/ センター千葉 043・278・7629/ センター佐倉 043・461・7868/
センター松戸 047・385・4646/ センター市原 0436・60・1583/ センターベイ 047・379・1540/ デポー真砂 043・278・0112/
デポーみつわ台 043・287・2414/ デポー新松戸 047・348・1210/ デポー大津ヶ丘 04・7191・7359/
デポー松葉町 04・7134・0697/ デポー浦安 047・353・0135/ デポー木刈 0476・40・6811/ デポー園生 043・290・0090/

2015 年度

エコロ福祉基金助成報告



2015 年度に受付・助成が決定し、2016 年 4 月 1 日～2017 年 3 月 31 日に実施した事業が対象です。(これまでは、事業実施年度を基準にしていたのですが、助成が決定した年度で呼ぶことに変更されました。)

エコロは「たすけあい」

エコロは、イタリア語で「はい、どうぞ」という意味です。エコロ制度は、多くの組合員の参加によりつくられた大きなたすけあいの輪です。そのなかのエコロ福祉基金は、助成金で地域の福祉活動を支援し、組合員が暮らす地域においてより暮らしやすくなることをめざしています。エコロ福祉基金には、毎月 100 円の掛け金のうち、約 25 円が使われています。

エコロ福祉基金とは

エコロ福祉基金は 1998 年より、地域福祉が充実するための活動や事業に助成することで、地域のたすけあいの力が向上し組合員の暮らしも豊かになる、そのような願いから始まりました。

組合員からのエコロ制度掛け金を原資とし、地域で高齢者・障がい者・次世代育成・生活困窮者に関わる活動

を行う団体に助成する一般助成と、生活クラブ虹の街が自らの運動から生み出した地域づくりのモデルとなる事業の安定的な運営を支え、地域に根付く資源となることを支援する特別助成の 2 種類を実施しています。助成枠は毎年、理事会で検討し決定しています。

助成は、開始当初から今までに総額 1 億 7 千万円以上になります。

エコロ制度は 1986 年から始まり 30 年が経過しました。この間、組合員の利用動向や地域の高齢化などの社会情勢の変化に応じ、制度改正を行い充実させてきました。エコロ福祉基金においても、今後、高齢や子育て中に必要な支援活動を視野に入れながら、広く地域福祉活動を行う団体への助成をすすめていくことで、住みよい地域づくりの実現に寄与していきます。

ちばの WA 地域づくり基金 冠 ファンド

生活クラブ虹の街は、一般助成を公益財団法人ちばの WA 地域づくり基金

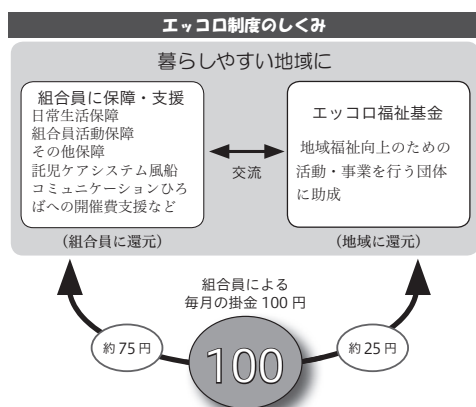
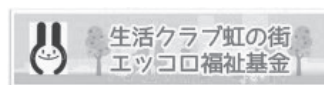
(ちばの WA) の冠ファンド(オリジナルの助成プログラム：生活クラブ虹の街エコロ福祉基金)として、運営を委託しています。ちばの WA を通じて、より多くの人が周知する広報力や助成に至るまでの選考・審査力が向上することを目的としています。

募集から助成決定まで

一般助成の募集は『コルザ』や虹の街ホームページやちばの WA のホームページ、地域の団体への呼び掛けなどを通じて行われます。

また、全応募団体を対象とした組合員からの応援メッセージを募集していることも、この基金の特徴です。その用紙は、応募団体の活動紹介や応援メッセージが書ける枠を設け、全組合員に配布しています。回収されたメッセージは、虹の街の選考委員が選考会へ出席し、応募団体へ届けています。

(写真下)



公開プレゼンテーション

2016 年 2 月 20 日、第一次選考を通過した 8 団体のうち 7 団体(1 団体辞退)による公開プレゼンテーションとヒアリングが行われ、各団体は、持ち時間いっぱい助成事業についてアピールしました。選考委員からは、活発な質問がされ、助成対象事業や日頃のさまざまな活動とその思いを、会場の皆が知る機会となりました。

最後に、生活クラブ虹の街の木村庸子理事長が組合員からのメッセージを団体毎に手渡し、想いを届けました。



特 集

一般助成 募集から助成まで 2015年度

2015年

8月25日

「エココ福祉基金一般助成の進め方」を理事会で承認

9～10月

ちばのWA地域づくり基金理事会にて、冠ファンド「生活クラブ虹の街エココ福祉基金」として設置承認応募受付に先立ち、県内6カ所で説明会が実施され、12団体が参加しました。

【四街道会場】9/11(金) 四街道市文化センター

【浦安会場】9/28(月) 浦安市市民活動センター

【市原会場】9/29(火) 市原市市民活動センター

【流山会場】10/8(木) 流山市生涯学習センター

【松戸会場】10/9(金) 松戸市商工会議所

【千葉会場】10/15(木) 千葉市美浜文化ホール

10月20日～11月10日 助成応募申請期間

10事業の応募がありました。

12月 組員投票

選考に先立ち、組員投票を実施しました。488人から数多くの応援メッセージが寄せられ、投票結果を審査会に、応援メッセージを各団体に届けました。

2016年

1月9日 第1次選考(書類選考)

公益財団法人ちばのWA地域づくり基金助成褒賞選考委員会による第1次選考が行われました。助成趣旨及び選考基準に基づき、申請書類と「ちばNPO情報館」に開示されている情報および、事前ヒアリングでの申請事業の補足情報をもとに申請事業ごとに選考され、公開プレゼンテーションにすすむ8事業が決定しました。

2月20日 公開プレゼンテーション(最終選考会)

千葉市生涯学習センターで、第1次選考を通過した8団体のうち7団体(1団体辞退)による公開プレゼンテーションとヒアリングをもとに最終選考が行われ7事業が採択されました。(写真2ページ)

3月25日 理事会承認

「2015年度エココ福祉基金一般助成」理事会で承認

3月 助成実施

ちばのWA

虹の街

ちばのWA地域づくり基金とは

公益財団法人ちばのWA地域づくり基金は、2012年5月に市民からの寄付(300万円)により設立した市民コミュニティ財団です。NPO法人ちば市民活動・市民事業サポートクラブ(NPOクラブ)が運営してきた市民活動支援基金「一歩くん募金」の実績を生かし、別法人化。市民による地域づくりを市民が支える資源循環の仕組みをつくり、根付かせ、持続可能で豊かな地域社会を創造することをめざしています。



ちばのWA地域づくり基金

tel & fax 043-270-4640

e-mail: info@chibanowafund.org

http://chibanowafund.org



2016年7月6日、虹の街本部3Fホールで行われた2014年度の助成団体の交流会のようす

エココ福祉基金

2015年度助成団体の活動報告会＆交流会

今年も、以下の日程で開催します。助成団体との交流や助成について興味のある方もぜひご参加ください。

日時 7月12日(水) 10:10～13:00

場所 生活クラブ虹の街本部 地域交流スペース渚

託児 あり

締切 6月23日(金)

申込み・問合わせ 福祉・たすけあい事業部

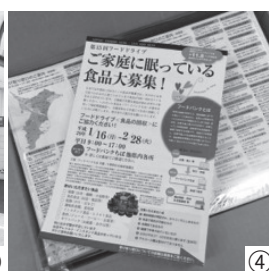
担当 染谷 tel: 043-278-7768

参加費
無料

特 集

助成を受けた団体の事業報告

・・・どの団体からも支援への感謝の言葉がありました・・・



一般助成団体名 事業名、助成決定金額（円）	助成金の使い道・事業報告
日本語を母語としない親と子どものための進路ガイダンス実行委員会（千葉・松戸・船橋・市川市） 日本語を母語としない親と子どものための進路ガイダンス 2016inCHIBA 300,000	千葉県内に定住する外国人が増加していますが、その子どもたちの高校進学率は 60%前後だと言われています。その子どもたちや保護者に高校進学の情報伝えるガイダンスを千葉県内 3 カ所で開催しました。3 会場合計で、中学生や既卒生 91 人、保護者 81 人、教員 57 人、通訳 46 人、ボランティア 53 人と、たくさんの方の協力を得て無事開催できました。エコロ福祉基金の助成でほぼ開催費用を賄うことができ、少額ずつですが協力者の方々に謝礼や交通費を渡すことができました。また参加者からは感謝の言葉が多く寄せられ、この事業の意義を再確認しました。（写真①②）
フードバンクちば（千葉市） フードバンク事業を基点とした中間的就労の場づくり 292,500	何らかの原因で社会から排除されてしまった人々が、少しでも社会復帰できるように、訓練として団体の活動ちらしのポスティングを行い、就労に繋げるための活動をしました。ちらし配布約 75000 枚、のべ 108 人が参加と事業の目標をほぼ達成することができました。特に身体や精神に障がいがあり就労が困難な方たちは、この活動を楽しみにしていました。一方でこのポスティングから就労に結びつくことは難しく、課題も残りました。少しでも自分の力で生きていけるように支援をしていくことは今後さらに大切になっていくと思います。このような生産性の低い地道な活動に対しての支援や助成はとても貴重でエコロ福祉基金は本当にありがたいものでした。（写真③④）
NPO 法人 B-Net 子どもセンター（酒々井町） 第 10 回 B-Net 子ども夏祭り ～僕たちがつくる酒々井の夏 299,600	子どもたちが積極的に物事に取り組む姿勢を養うこと、街の活性化を図ることを目的に、「子ども夏祭り」を開催しました。10 回目となる今年は総勢 21 人の子どもスタッフが私たち大学生と共に祭りをつくり上げました。活動期間は 3 週間でしたが、スタッフと子どもたちが徐々に一丸となっていくようすは素晴らしく、かけがえのない経験になったと思います。今年度は自発的に 2 団体が出店をしてくれました。このように初回から比べると活動の支援者も、また街の理解もかなり増えてきました。少しずつではありますが確実に地域に根付いてきていると思います。本助成金で祭りに必要な消耗品や経費を賄うことができとても感謝しています。（写真⑤⑥）
NPO 法人 コミュニティワークス（木更津市） 水耕栽培事業（生活介護） 98,302	団体が経営するカフェで使用する大量の野菜の安定供給と作業者の工賃向上をめざし、室内で行う水耕栽培事業を開始しました。農作業に従事することが難しかった車いすや全盲の利用者が、野菜の栽培や収穫作業をすることができてとても喜んでます。残念ながら、初めての試みで安定した収穫量を確保できず、本格的な量産体制には至りませんでしたが、作業者が積極的に責任をもって取り組むようになりました。今後もノウハウを蓄積し、安定した栽培ができるよう体制を整えていく予定です。カフェを訪れた方々にこのレタスを味わってもらえるよう頑張ります。（写真⑦⑧）
NPO 法人 カフェ・バルコニーの家（千葉市） 作業効率と安全性を確保するための事業所改装 300,000	現在、社会に適応しづらい方や自宅にひきこもりがちな方のための仕事の場を提供しています。作業はレストランの営業と惣菜・弁当などの販売で、調理には普通の住宅の台所を使用しています。業務が順調に拡大してきたことで台所が手狭になり、安全性の確保にも問題が生じていました。特に精神障害のある方は狭い場所での作業が苦手で、些細なトラブルも生じていました。しかし、エコロ福祉基金の助成金で作業スペースを改装したことで、作業者が和やかにのびのびと働けるようになりました。また作業場の環境が良くなったことで、入会希望の方も安心して入会するようになりました。（写真⑨⑩）
NPO 法人 千葉盲ろう者友の会（旭・大網白里市、御宿・大多喜・酒々井・神崎・芝山町） 盲ろう者の掘り起こし事業 300,000	地域に埋もれてしまっている盲ろう者の掘り起こしと、行政の職員に盲ろう者に対する理解を深めるための研修会などをお願いするため、盲ろう者と通訳介助者・スタッフの 3～4 人が 1 チームとなり千葉県内の市町村を訪問しました。訪問先では、盲ろう者の障がいの特性や困難なことなどを直接説明することで、盲ろう者への理解が深まりました。横芝光町からは職員研修会の依頼があり、開催することができました。また市町村の発行する広報誌に盲ろう者の使えるサービスなどを掲載してもらえることになりました。行政の職員にも盲ろうという障がいそのものを知らない方もいます。本助成金により、周知活動を行うことができました。（写真⑪⑫）
NPO 法人 ほっとすぺーす・つき（佐倉市） 居場所事業 300,000	ひきこもり、不登校などの方々が安心して過ごせる場所、話を聞いてもらえる居場所事業を行っています。昨年度は、子ども食堂を始めたことでさらに認知度が上がり、利用者が 1200 人を超えました。子どもから高齢者まで、「来るのを楽しみにしている」「やっと自分の居場所をみつけた」などの思いを聞きました。居場所の利用料金は低所得世帯の方々が利用しやすい価格に設定しているため、必要経費は寄付金や助成金で補っています。この助成金で居場所事業の人件費が確保できました。これからも安心して過ごせる場、落ち着く場づくりを行っていきます。（写真⑬⑭）

特 集

特別助成団体名 事業内容、助成決定金額（円）	助成金の使い道・事業報告
認定 NPO 法人 VAIC コミュニティケア研究所 (千葉市) 地域包括ケアの仕組みに必要な、 多様なたすけあいの機能を創出 3,000,000	私たちは、総合相談事業（生活支援、社会参加支援、後見相談、家計相談、子育て支援）、生活困窮者支援事業（家計相談支援、貧困連鎖防止、物品提供）地域包括ケアの一環を担う事業としての生活支援サービス事業、地域貢献や自立を動機としたボランティア支援などを行う社会参加支援事業、講座や企画の開催などの地域交流事業、子どもの一時預かりや親子ひろばなどの子育て支援事業を担っています。今回の助成金は、県内 3 カ所にある私たちのセンター（稲毛、柏、八街）を拠点にした活動において、地域に必要な多様なたすけあいの機能を創出し、地域包括ケアの実態をつくる重要な取り組みを支援するために活用しました。
NPO 法人 はぐくみの杜を支える会 (君津市) 児童養護施設の子どもの生活・自立支援 1,000,000 	児童養護施設「生活クラブ風の村はぐくみの杜君津」は、2013 年 9 月に開所し、現在 40 人の子どものための暮らしの場となっています。施設の開所に合わせて設立されたはぐくみの杜を支える会は、2015 年 8 月に NPO 法人格を取得し、日常生活充実のための生活支援や自立支援ファンドづくり、施設への物品提供の募集とその仲介などを行っています。現在、施設を巣立つ子どもへの自立支援が始まっており、親の支援を受けられない子どもたちへの財政的な支援や社会に出たときに孤立しないようにフォローすることが必要です。さらに、今年 5 月に開設した乳児院「はぐくみの杜君津 赤ちゃんの家」への生活支援も始まったことで、さまざまな事情で親と暮らせない 0 ～ 20 歳までの支援をすることになります。これからも施設と相談しながら、子どもたちが、豊かな生活体験をし、自立に向けての力を身につけられるような支援を続けていきます。そのために、会費や基金による安定的な支援の基盤づくりの確立をめざします。
スワンペーカーリー柏店（柏市） 障がい者就労支援事業 1,000,000 	当店は、2004 年 11 月にオープンしてから 13 年目を迎えました。「店舗販売」「共同購入」「スワン友の会」と 3 つの部門でパンの製造・販売を行っています。「スワン友の会」は、会員登録をしてパンセットを週 1 回取り組むことで、障がい者就労を支援するものです。現在、3 人が職員やスタッフと一緒にパンの製造・成型をはじめ、出荷するパンの袋詰めや陳列などを担い、勤続年数は 8 ～ 13 年と長期に渡り日々頑張っています。スワンでは、障がいのある人もない人も地域の人々の暮らしのなかで共に働ける職場づくりをめざしています。地域では、特別支援学校からの職業体験実習、イベントや生活クラブの企画でのパン販売の機会を得ています。これからも組合員や地域の方々に支えられながら、常に感謝の気持ちを忘れずに、多くの皆さまに喜んでいただけるようおいしいパンを焼き、持続可能な障がい者就労支援を継続していきます。
くらしと家計の相談室（千葉市） 生活相談・家計再生支援貸付事業 1,700,000 	2015 年 4 月に、くらしや家計の困難を抱える人のサポートを目的として開設された当相談室は、電話で相談の概要を受け付け、その後面談で家計の状況を聞き取り、家計診断などを経た後、生活再生手段の検討や提案を行っています。相談内容に応じて、公的制度や他機関の活用、相談室の貸付を含む家計再生に繋がる提案を実施しています。貸付にあたっては事業規約に基づいて審査を行い、相談者と共に生活再生をめざして問題解決をはかる生活伴走人をつけています。2016 年度は 1 年間に 547 人の相談を受け、うち 231 人と面談、110 人に合計 6393 万円の貸付を実施しました。今回の助成では、県内他生協、各機関・団体、法律専門家等への広報資料の制作や、「ちば県民だより」7 月号に続いて 11 月号にも広告を追加掲載するなど、「お知らせ活動」を補強することができました。
総合計 8,327,402	各団体からの報告をもとにまとめています。



デポーおおたかの森 10 月末 OPEN!



デポーおおたかの森は、おおたかの森駅（つくばエクスプレス、東武野田線）北口から徒歩3分の所にオープンします。4月11日には地鎮祭が行われ、工事が始まりました。

1 階がデポーです。生活クラブの消費材はもちろんのこと、青果（野菜・果物）、鮮魚、精肉などの生鮮品を扱います。イートインスペースや試食コーナーも設け、楽しく使いやすいスペースをめざしています。

2 階に保育園、地域交流スペース、託児室、キッチンスタジオ、ワークスペースの惣菜製造室・事務所等があります。「子育て・子育て事業」の一環として、流山市と協議をすすめ、「小規模保育園事業」に取り組みます。0～2歳までの子どもを対象とし、定員は19人。消費材を使用した給食やおやつを提供を行うなど、プロジェクトを設置し、ハード面の検討および虹の街が運営する保育園の理念、運営方針について検討し整備します。園の職員を募集します。デポーフロア運営、惣菜・弁当事業についてはワークスペースコレクティブを結成し、各事業をワークスペース内で分担し運営します。ワークスペースさんを募集中です。

オープンまでに1,200人の新しい仲間を迎え入れることを目標に、仲間づくりやイベントの企画・開催など、たくさんのわくわく「デポ活♪」が、柏ブロックを中心に始まりました。ぜひ、近くにお住まいのお友だちを紹介してください。紹介キャンペーン実施中です。



セイコさんとカツコさん

作：デポ活 news 編集部 絵：わたべ仁美

vol.2



行政訪問事前学習会

生活クラブ虹の街ではせっけん運動ネットワーク（旧協同組合石けん運動連絡会）と連携し、毎年7月のシャボン玉月間の前の5・6月に、自治体にせっけん運動への理解を深め、首長メッセージの寄稿や協賛、後援などを依頼する訪問活動を行っています。

4月17日、本部1階^{なごさ}にて行政訪問事前学習会を開催。28人が参加しました。講師としてエスケー石鹸

（株）の木曾基之さん（写真左）、小林衛さん（同右）を招き、せっけんと合成洗剤の違いやせっけんの始まり、PRTR法について学習しました。

有害性のある多様な化学物質が、どのような発生源から、どれくらい環境中に排出されたか、あるいは廃棄物に含まれて事業所の外に運び出されたかを把握・集計し公表する仕組みがPRTR制度です。この化学物質とは、人の健康を損なったり動植物の生息もしくは生育に支障を及ぼす恐れがあ



るもの。またその物質自体は有害でなくても環境中に排出された後で化学変化を起こし、有害な化学物質を生成してしまうものをいい、化管法第一種指定化学物質として462物質が指定されています。事業所や工場等はPRTR

活動ファイル

法にのっとり対象化学物質の排出量を届け出し、自治体が公表しています。しかし、従業員数が 20 人以下の小規模の事業所や家庭から排出される化学物質の届け出の義務はなく、PRTR 法で指定された物質が入った洗剤やシャンプー、衣類の防虫剤、トイレの防臭剤などが販売・使用されています。

名称についても、例えば PRTR 物質名では、ポリ（オキシエチレン）＝ドデシルエーテル硫酸エステルナトリウムですが、図のように表示名が用途によって変えられてしまうと私たちには見分けることができない状況です。

「同じもののなのに 100 もの呼び名をもつものもあるんです」と小林さん。

「東日本大震災の時の爆発や火災津波などで流出した有害化学物質はまったく把握されておらず、PRTR 法の課題として、緊急時対応のため事業所などの保管量・取扱量の届け出の義務が早急に必要です」。放射能だけでなく、あの時環境中にかなりの量の有害物質がまき散らされてしまったのです。

「GHS（Globally Harmonized System）化学品の分類及び表示に関する世界調和システムは、日本では 2006 年に実施を約束しているが、実際には事業所や工場で使われているものだけで、一般的に消費者が使用する製品の法制化には至っていない」。

自治体の情報公開にも差が出てきたことも受けて、5 月からの行政訪問では、化学物質の有害性、そして家庭か

ら排出される有害化学物質の 67% が合成洗剤の成分であることを伝え、排出削減の 1 つの方法として洗濯、手洗い食器洗いに純せっけんの利用を呼びかけたいと思います。

環境委員 東條絵美

うちエコ診断士養成講座

4 月 24 日、虹の街本部 1 階の地域交流スペース渚にて、うちエコ診断士養成講座を開催し環境委員を中心に、14 人が受講しました。



うちエコ診断士とは、環境省の「うちエコ診断ソフト」を活用して各家庭の光熱費や CO₂ 排出量を「見える化」し、各家庭の住まい方やライフスタイルに合わせた適切なアドバイスや提案を行うことができる、環境省認定の資格です。2014 年に資格試験が始まり、今年度は第 4 回となります。

うちエコ診断士でもある講師の一般社団法人グリーンファンド秋田の鈴木伸予さんは、参加者代表として環境委員の T さん宅を例に、実際に「うちエコ診断ソフト」を使って、現状把握と省エネを提案。事前質問票を基に入力したデータから、現状でも T さん宅は

省エネ度が高いことが分かりましたが、鈴木さんの提案で省エネ度がさらにアップ！同じような環境（居住地・家族構成など）の家庭での省エネ度順位が診断ソフトで表示され、数値として分かりやすく、今日からでも実践できるエコ診断をしてもらえることがよく分かりました。

講座の中盤は、うちエコ診断士試験について。筆記試験（一時試験）と実技試験（二次試験）が夏にあり、受験申込の受付は 5 月下旬から。詳しくは、環境省の「家庭エコ診断制度」HP をご覧ください。

後半は、家庭でできるエコ（省エネ）方法について、「省エネ家電製品への買い替え、電気を熱源として使わない、窓から熱を入れない・逃さない、給湯量を減らすなど。わが家のエネルギーの年間コストを計算してみて、その割合が高いものから順に改善に取り組むと、効率よく省エネがすすみます」。

どの家庭でも、電気はエネルギーの大きな割合を占めています。その電気を、原発に頼らず自然エネルギーを使う「生活クラブでんき」の共同購入が去年からスタートしています。

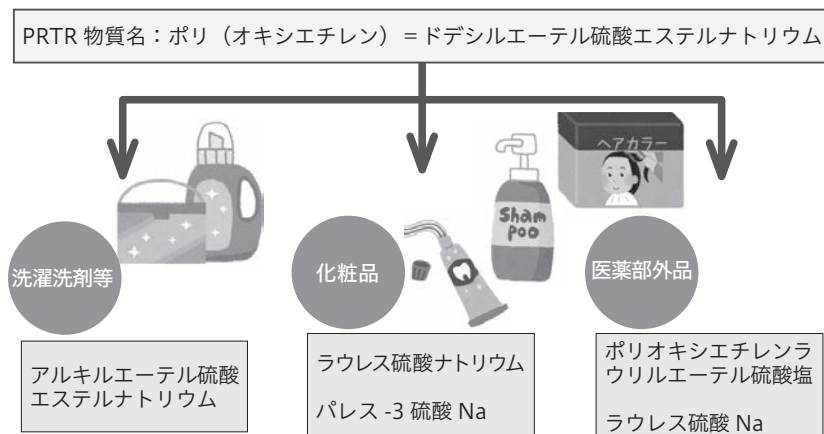
食卓を灯す電気の明るさは同じでも、その電気が自然エネルギーでつくられていたら、地球にとってエコだと思います。

「シリアやパレスチナなどの紛争も、エネルギーの争奪が要因の一つではないか」という鈴木さんの話が心に残っています。

自然エネルギーは枯渇性エネルギー（石油・石炭・プルトニウムなど）と違い、奪わないエネルギーです。エネルギーを無駄遣いすることなく、かといってストイックに切り詰めるのではなく、前向きに効率よく省エネをすすめていきたいですね。

うちエコ診断士はそんな私たちの要望をアシストしてくれる心強いパートナーだと思います。

環境委員 畔上久美



人間以外の食器や衣類、住居などに使うものは経済産業省（消費者庁）、
人の体を洗うためのものは厚生労働省の管轄で表示方法が決められている。

ブロック活動ファイル

* QR コードで各ブロックの Facebook へ！楽しいお知らせ満載です！



柏ブロック

大津ヶ丘マルシェ～つなぐ～

デポー大津ヶ丘では 2016 年度より、月 1 回「大津ヶ丘マルシェ～つなぐ～」を開催しています。「つなぐ」の由来は、「おおつがおか・みんなを・つなぐ」からで、デポー大津ヶ丘で働くワーカーズと私たち運営委員で決めました。

4 月 19 日のマルシェは、デポー大津ヶ丘で活動するコミュニティ「しゃべり～な」とのコラボ企画。「しゃべり～な」は中高年層の方のふれあいの場、自由に話せる活動をしているコミュニティですが、最近大津ヶ丘周辺

に住む若いママさんたちも加入し、ますます盛り上がりを見せています。

「桜の花を愛でてお茶会」ということで、デポー店頭のテントに桜を飾って会場に！ 茶道の先生に抹茶をたていただきました。普段なかなかできない貴重な体験です。和菓子をいただきながら、日々のあれこれをおしゃべりし、みなさん楽しいひと時を過ごしました。

そのようすは、ベテラン組合員さん、若いママ世代の自然な交流のある、



柏ブロックがめざす「エイジレスなブロック」そのもの。私たちの考えるマルシェは、一方的に発信するのではなく、組合員・ワーカーズ・コミュニティ、みんなでつくっていくものとして、今後も連携を取りながら楽しくデポーを盛り上げていきたいと思います。

運営委員 川野彩美

*デポーおおたかの森の建設のようすやイベントなどは、今号からコルザのミニ特集(6 ページ)でお知らせします。柏ブロックの facebook では、タイムリーなお知らせを配信しています。



松戸ブロック

デポー・マルシェ@新松戸

デポー新松戸の斜め向かいに、芸術的なラテアートをつくるカフェ・アビルコーヒープラスさんがあります。

4 月 14・15 日、店頭を借りてデポー・マルシェを行い、温州みかんジュースなどの試飲や試食、減農薬野菜・W.Co 菜の花の惣菜を販売しました。カフェの前ということで近所の方も立ち止まりやすかったようで、「生活クラブって何?」「生活クラブ、前から気になっていました!」など、いろいろな出会いがありました♪

同日開催のワーカーズバースデー*では、フロアで生産者交流会を開催。東京カリント(株)の揚げたてドーナツやミサワ食品のわらび餅の試食、ハイム化粧品化粧品の化粧品相談、エスケー石鹸(株)のセスキの使い方講座など。ここでしか聞けない話、試食を満喫して皆さん買い物を楽しんでいました。駐輪場では、3 年目を迎え、定着してきたエコフリマ(物々交換会)や抽選会も!ワーカーズだけでなく、おおぜいの組合員がワーク参加でデポーを盛り



り上げました♪

生活クラブ共済のキャラクター「ハグみちゃん」が県内初登場。園児のママたちとさっそく記念撮影会。

当日の加入 3 人。実りある 1 日になりました! 運営委員 森本英理子

*4 月、デポー新松戸にワーカーズが誕生して 4 年目を迎えた。



ベイブロック

自生 GM ナタネ検査 & 上映会

4 月 18 日、センターベイにて「自生 GM ナタネ検査 & DVD 上映会」を開催。7 人が参加しました。

始めに『遺伝子組み換えルーレット』の DVD を鑑賞し、遺伝子組み換え(GM)作物について深く学びました。本来自然界では起こらない遺伝子操作を行うことで私たち人間だけではなく全ての生き物に多大な影響をもたらすという内容でしたが、今日本では、それらの詳しい情報はあまり入ってこない状況です。

「とても内容の深いものでもっと多くの方と共有して食の安全について知ることが大事」との参加者の声。

自生 GM ナタネ簡易検査は、毎年この時期に環境委員会が検査活動をしています。昨年も千葉港周辺で自生 GM ナタネが発見されています。主な原因は、輸入された GM ナタネの種子が搬送中にこぼれ落ち自生するのですが、輸送ルートでない所からも発見され、飛散が疑われています。

ベイブロックでは市川市や船橋市か



ら 3 検体を用意し検査したところ全て陰性でした。

遺伝子組み換え食品について、知るほどに恐れを感じ、家族や周りに情報を広め、食べないように促すことが必要です。これからも上映会を行い食の安全について語り合う場を持ちたいと思います。 運営委員 善塔晃子

ブロック活動ファイル



千葉ブロック

4 月、千葉ブロック内 3 つの各デポで、生活クラブのお店・デポーを多くの方に知ってもらうためのイベント「ひろば」を開催しました。

4 月 1 日は、デポー園生で「さくらさんぽ」と同時開催した「そののうひろば」。15 日は、デポーみつわ台でお天気に恵まれた「みつわ台ひろば」。22 日は、デポー真砂でカフェコーナーもにぎわい、6 人の加入があった「まさごひろば」。各デポーで工夫して 10:00～13:00 で開催しましたが、

デポーひろば開催！

試食試飲コーナーや添加物ジュース実験には、どのデポーでも多くのお母さんが子どもと一緒に参加していました。また、子どもコーナーの輪投げ、ヨーヨー、わたあめ、お菓子詰め放題にはちらし持参のお子さんが何度も挑戦し、袋いっぱいになったお菓子を手に満足げな笑顔が印象的でした。

デポーでは企画の際、組合員に「ワーク」としてお手伝いにももらっています。今回は、組合員のお子さんが「子どもワーク」として一緒に盛り上げて

くれたデポーもありました。お手伝い終了後には、ワーク券（デポーで使える買い物券）をもらい、笑顔で買い物を楽しんでいます。

個配の組合員の皆さんもお友だちを誘ってデポーに来てみませんか。「ひろば」は今後も開催予定です。各デポーでお知らせしますので、お見逃しなく！
理事 西宮美佐子



佐倉ブロック

L's 選定消費材をご存知ですか？みんなで利用したいベーシックな 30 品目を L's 選定品と呼んでいます。

L's Café 第 1 回目は 4 月 19 日に佐倉市志津コミュニティセンターで開催しました。ビギナーさんにおすすめ！と情宣したこともあり、参加者 10 人のうち新規加入者 5 人、組合員でない方の参加も 1 人ありました。

今回のテーマは、お菓子づくりにも使いやすいホットケーキミックスとチューブ型でデビューのマヨネーズ。

エルズ カフェ
L's Café スタート！

まずはテーマ消費材の優位性や市販品との違いなどを分かり易く学習し、自己紹介やお気に入りの消費材の話のあとクッキング開始！よく使うものなので少し目先を変えた、簡単メニューを実習。ホットケーキミックスはマスタードを効かせたハムロールパンとバナナをトッピングしたスイーツパン、マヨネーズは新馬鈴薯とウインナーのカレーマヨ和え、春キャベツの蒸し煮タルタルソースの計 4 品。

参加した皆さんはとても手際が良



く、次々と料理ができてあがりました。調理中にも消費材の話に花き、情報交換の場にもなりました。「お料理もおいしく、普段つくらないメニューを実習できて良かった」「パンは、とても簡単なので子どもとつくってみたい」などの声も。

これからもシリーズで開催していく予定ですので、どうぞお楽しみに！

運営委員長 紅谷秋恵



市原ブロック

4 月 14 日、君津市生涯学習交流センターで、ブロック主催の（株）平牧工場の生産者交流会を開催しました。

加工本部商品開発課主任の高橋祐さんのお話でまず盛り上がったのが、消費材のウインナーと市販品仕様のウインナーをつくる映像です。市販のウインナーは、全重量のうち肉はたったの 40% で、次々と添加物が投入されます。平牧工場のウインナーはシンプルで、肉の割合は 70%！もう 1 つの発見は、平牧工場のウインナーに入って

（株）平牧工房生産者交流会

いるポークエキス。これは平田牧場の豚骨を水と塩だけで煮出した高品質なものです。一方市販品に使われているポークエキスは、薬品を使って抽出しているものもあるので要注意です。

次は腸詰め体験。消費材の「生ウインナー」の中身を羊腸に詰め、くるくるねじって、ウインナーのできあがり～！さっそく茹でて、平牧工場の加工肉を使ったポトフやベーコン巻きなどと一緒に試食しました。つくりたてのぷりぷりウインナーのおいしさに感



動！市販品との食べ比べもして、消費材のおいしさを再確認。平牧工房さんへの感謝の声が聞かれました。

参加者が 28 人と 30 人に届かなかったのは残念でしたが、昨年度個配展開して組合員が増えた君津市で、消費材の良さを知ってもらう絶好の機会となりました。
消費委員 鶴来亜矢乃



生活クラブ千葉グループは、県内の生活クラブ関連 9 団体の
総合力で地域社会をより住みよく暮らしやすくするために社
会問題の解決とコミュニティの再生に寄与します。

生活クラブ風の村

生活クラブ風の村の第 4 次中期計画のご紹介

あなたの尊厳を守ります。

【事業本部】佐倉市王子台 1-28-8 ちばぎん臼井ビル 4 階

tel : 043-309-5811 fax : 043-460-8844

<http://www.kazenomura.jp/>

e-mail: info@kazenomura.jp



生活クラブ風の村は、人生のすべてのステージで必要と
される支援を行うことをめざしています。その実現に向
けた第 4 次中期計画の一部をご紹介します。

1 だれもが地域で安心して暮らし続けるために、一人
ひとりの個性と尊厳を尊重した質の高いサービス
を提供します。

- ・業務の分野に関わらず、ICF*の考え方を全分野における基本姿勢と位置付けると共に「基本ケア」の確立およびその達成度を測る評価基準の策定をすすめていきます。
- ・地域住民、利用者の方々々が居場所と役割を持って暮らし続けることができる地域社会をつくるために「コミュニティオーガナイザー（地域住民らが協力しあい共通の利益の為に行動するよう組織化を行うリーダー）研修を実施し、専門性を身に付けることをめざします。
- ・ケアの質の向上と業務の効率化のために ICT（情報通信技術）を積極的に活用します。
- ・生活クラブ安心ケアシステム*を 7 拠点*で実施し、地域で支援を必要としている人を「支えきる」ための検討や、パンフレットやちらし等による広報の強化をします。

2 全世代・全対象型地域包括支援体制を構築します。
介護や障がい、子育て、生活困窮といった分野の垣根を越えた総合的な支援を展開する「地域共生ケア」は、あらゆる地域住民がお互いに支え合うケアです。その実現に向けた人材育成の必要性があります。生活クラブ千葉グループ 4 団体（生活クラブ風の村、生活クラブ虹の街、VAIC コミュニティケア研究所、ワーカーズコレクティブ千葉県連合会）では 2 つの統一方針を打ち立て共に推進していくことになりました。

- ・統一方針 1 生活クラブ風の村の 7 拠点を中心に、生活クラブ安心ケアシステム*をすすめていきます。
- ・統一方針 2 誰もが気軽に訪れ、個々が抱える課題に対して必要な支援の機能をあわせ持った居場所「街の縁側」づくりをすすめていきます。

3 全員参加型の職場づくりをすすめると共に、強い経営体質をつくります。

- ・質の高いケアを実践し地域包括支援体制をさらに深めていくために、安定的な人材確保と経営体質の強化・改善を確固たるものにしたうえで、地域福祉サービスの充実とその財源確保、地域住民や職員による運営参画の要素をあわせ持つシステムとして稼働させることを将来的な目標とします。
- ・新卒採用を含め人材確保に努め、65 歳定年後の職員の再雇用やリフレッシュ休暇の導入、36 協定の厳守等を実施し、働く「意欲度」「満足度」を高めます。
- ・職員の技術向上やメンタルサポートも含めた充実した研修を実施します。
- ・ユニバーサル就労*をすべての職員のはたらき方改革と位置づけ、就業規則、基本行動心得等を 2018 年 4 月に向け全面改訂できるように準備をすすめます。
- ・社会福祉法改定に的確に対応し、適切な法人運営を行います。

地域共生社会とは「地域住民や地域の多様な主体が『我が事』として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて『丸ごと』つながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会」（厚労省 HP より）です。生活クラブ風の村もその担い手として邁進していきます。

ICF：障害分類がマイナス面を分類するという考え方に対し、生活機能というプラス面からみられるように視点を転換し、さらに環境因子等の観点を加えた分類。

生活クラブ安心システム：2 つの取り組みで構成。

生活クラブ安心支援システム…（事業所近郊の）すべての地域住民が住み慣れた地域で暮らし続けられる支援の実施。サロン、買い物バス、こども食堂など。

生活クラブ安心ケアシステム…サービス契約を結ぶ要介護者等が在宅生活をできる限り続けるために、制度外サービスを含めたケア。

7 拠点：流山市、柏市、船橋市、佐倉市、千葉市稲毛区園生町、千葉市稲毛区作草部、八街市

ユニバーサル就労：働きたいのに働けずにいるすべての人を対象として支援する取り組み。

生活クラブ千葉グループからのお知らせ

NPOクラブ

NPOクラブは「四街道市みんなで地域づくりセンター」の運営を受託しています

市民のチカラをあつめる、つなぐ、広げる。

【住所】千葉市美浜区真砂 5-21-12

tel : 043-303-1688 fax : 043-303-1689

<http://npoclub.com/>

e-mail: npo-club@par.odn.ne.jp

(認定 NPO) ちば市民活動・市民事業
サポートクラブ



2016 年のようす

福祉施設紹介・販売フェア「大きなテーブル」 四街道で開催します！

普段なかなか知ることができない福祉施設の取り組みや商品を地域の方々に紹介し、交流する 2 日間

入場無料

日時：6月16日(金)・17日(土) 10:30～14:30

会場：四街道市文化センター展示ホール &

みんなで地域づくりセンター(四街道駅徒歩 15 分)

共催：公益財団法人四街道市地域振興財団

協力：四街道市障害者支援課

主催・問合せ：四街道市みんなで地域づくりセンター
(シティセールス推進課分室)

tel : 043-304-7065 fax : 043-422-7051

e-mail : info@minnade.org

<http://minnade.org/>

内容：

福祉施設の活動紹介、

商品販売(新鮮野菜、平飼いの卵、生椎茸、パン、

クッキー、ジャケット、バッグ、陶器、雑貨など)、

専門機関による就労・進路相談(16日のみ)、

よつグルメ café



お気軽にお立ち寄りください。

VAIC-CCI

救急車の適正利用促進事業(千葉市協働事業)

だれもが自分らしく安心して暮らせる地域に。

【事業本部】千葉市稲毛区園生町 1107-7

tel : 043-290-8015 fax : 043-290-8016

<http://www.vaic-cci.jp/>

e-mail: info@vaic-cci.jp

(認定 NPO) VAIC コミュニティケア研究所



私たちは、暮らしやすい地域づくりのために、ボランティア・子育て・障がい者・地域交流の支援、生活支援など、さまざまな事業に取り組んでいます。私たちは、一人ひとりの暮らしを大切にしています。



2015 年度から千葉市消防局との協働事業として、救急車を頻回に利用する人の支援活動を始めています。

千葉市では年 7 回以上救急車を呼んだ人を「頻回利用者」と呼びます。このような人たちの多くは何らかの問題を抱えています。救急車の適正利用を促進するためには、対象者が社会から孤立しないように支援することが大切であり、地域住民の居場所となるサロンへの参加や、相談できる人の存在や支援者へつないでいます。



市外転居・入院・施設入所・死亡・支援拒否を除いた対象者に対して、定期連絡・傾聴・見守り活動を実施しています。

<事業対象者>

2015 年度 稲毛区 24 人

2016 年度 稲毛区 22 人

2017 年度 稲毛区 9 人、美浜区 8 人 計 17 人
(このうち 9 人が前年からの継続者です)

生活クラブ千葉グループからのお知らせ

せっけんの街

生活クラブ虹の街と一緒に行政を訪問

生まれてくる新しい生命のために。

【本部】 柏市小青田 29-2

tel : 04-7134-0463 fax : 04-7134-7468

http://www.sekkenomachi.org

e-mail: info@sekkenomachi.org



(NPO) せっけんの街

7月のシャボン玉月間に合わせ、NPO せっけんの街は今年も、生活クラブ虹の街と一緒に、手賀沼・印旛沼周辺の自治体を訪問しています。

1970年代、手賀沼や印旛沼の水質を汚染していたのは主に家庭雑排水でした。汚していたのは自分たち自身だったと気づいた人々が、使い終わった食用油からリサイクルせっけんを製造し、それを使うことで資源が循環するしくみをつくろうと活動してきました。

生活クラブ虹の街からも協力を得て、市民出資でできた工場は、手賀沼せっけん工場と酒々井町の印旛沼せっけん情報センターになりました。

洗剤を選び、適切に使うことで、下水処理場で処理し

きれない有害化学物質を軽減させていきたいものです。

せっけんの街が行政訪問をするのは、PRTR 制度で水質汚染物質として指定されている合成界面活性剤を含む洗剤をせっけんに切り替えることで、おいしくて安全な水環境を次世代に残したいという政策提案のためです。

粉せっけんはより溶けやすく、固形せっけんと共に品質の安定に努めています。初めての方でも使いやすい液体せっけんは、台所用液体せっけん「おれんじ」の登場でさらにファンを広げています。

せっけんの街の

「おれんじ業務用」

「台所用粉せっけん^{もえ}蒔替用」が『エコマーク』を取得しました。



エコマークとは、さまざまな商品（製品およびサービス）のなかで、「生産」から「廃棄」にわたるライフサイクル全体を通して環境への負荷が少なく、環境保全に役立つと公益財団法人 日本環境協会に認められた商品につけられる環境ラベルです。今後、学校や企業でお目にかかるかもしれません。せっけんの街の広がりにご期待ください。

W.Co 連合会

事業所内外でのコミュニケーションと地域との結びつきが大切！

ワーカーズ・コレクティブで暮らしをデザイン

【住所】 柏市十余二 380-97

tel & fax : 04-7134-0072

http://www.ac.auone-net.jp/~r11/wco.html

e-mail: wcochiba@s2.dion.ne.jp



(NPO) ワーカーズコレクティブ
千葉県連合会

W.Co リーダー研修報告

3月29日、「次世代リーダーの育成」を目的として、佐倉エリアのW.Co 見学と学習会を開催しました。

見学コースは、リユース食器レンタルの(W.Co 風車)→リサイクルショップ(W.Co 回転木馬)→福祉事業(生活クラブ風の村・とんぼ舎さくら)→虹の街センター佐倉内 弁当製造(W.Co ハーブ)→虹の街配送(ワーカーズ・結^{ゆい})を訪問し、事業内容を聞き、買い物をしました。昼食は「W.Co ハーブ」のお弁当です。

学習会では、① W.Co 回転木馬の設立メンバーである西山美代子さんから、佐倉エリアのワコレの成り立ちと各事業所と地域、関連団体との連携について。②当連合会理事の柴山温行さんから、ワコレについての基礎編とリーダー編の説明。その後、4グループに分かれて、各事業所の課題や悩み、その解決策・改善策をテーマに討議・発表を行いました。どの事業所も「人員不足」を抱えていることがわかりました。

参加者からは、「名前は聞いているが、



実際訪問することで、事業内容や働いている方のようすがよくわかった」「講師の熱い想いが伝わってきた」「普

段事業所では見えない、外部の世界や人々と接することができてよかった」「これからこうした研修会を開催してほしい」などの意見がありました。

日々の業務に追われ、大切なことを見過ごしがちですが、各事業所内外とのコミュニケーションと地域との結びつきが重要だと改めて気づかされました。

次世代へ続くリーダーが少しずつ育ってくれることを望みます。

コミュニティー委員会
後藤里美 (W.Co 回転木馬)

生活クラブ千葉グループ & ちばこどもおうえんだんからのお知らせ

UWN ちば

生活保護を受けて、仕事ができないってどういうこと？

誰もがはたらきやすい社会をめざして。



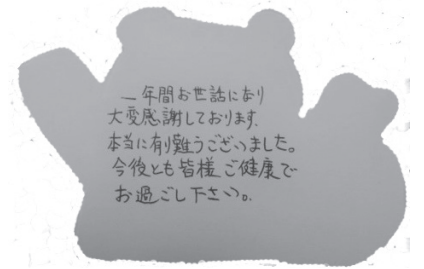
【住所】 千葉市中央区中央 3-9-9 エレル千葉中央 304

tel : 043-306-2564 fax : 043-306-2574

http://uwnchiba.net

e-mail: info@uwnchiba.net

(NPO) ユニバーサル就労ネットワークちば



一年間お世話に
大変感謝しております。
本当に有り難うございました。
今後とも皆様ご健康で
お過ごし下さい。

松戸市で生活保護を受けている方々の就労準備支援を始めて丸1年が経過しました。多くの方々とお会いするなかで戸惑いながらも、それでもなんとか力になれないかと考え抜いた1年間でした。

「就職活動の意欲がない」と判断されて来所する人も少なくありません。「意欲がない」と見えるだけで、そこを丁寧に読み解くと「就職活動がうまくいかずに、どうしたらいいのかわからない。相談する人もいない」という状況で立ちすくんでいる人がほとんどです。

例えば、以前は正社員として活躍され、40代になってヘルニアで重い腰痛になり同時期に糖尿病が発覚。両足にしびれや痛みが走り、歩行さえ困難な状態で退職。経済的に困窮状態となり家族は離散。一人になってしまい、さらに心臓の病気で救急車で運ばれた先で生活保護のワーカーに繋がったという方もいます。

また、「意欲がない」という背景には、障がい隠れていたというケースもあり、特に軽度の知的障害や発達障害の傾向がある方は、じっくり話を聞かないと特性がわかりづらく、

30～40代になるまで見過ごされてしまうという経緯もあります。

私たちは、その人がなぜ就労に至れなかったという本質的な課題を探ることから始め、目標を立てていきます。「意欲がない」と思われていた人も、自分自身をしっかりと見つめることで具体的な支援方法が見つかります。

そうして私たちの支援を卒業した方もチラホラ出てきた2年目の春、嬉しい便りをいただきました。暗闇のなかにいた人が光を見つける瞬間は、いつ立ち会っても感動的です。

ちばこどもおうえんだん

「こども・若者未来基金」を応援してください！

社会的養護下の子どもたちの、暮らしと自立を応援します！

【住所】 千葉市稲毛区穴川 3-1-1

tel & fax : 043-205-4046

http://kodomo-ouendan.com/

e-mail: chiba.kodomo_ouendan@fuga.ocn.ne.jp (NPO) ちばこどもおうえんだん



ちばこどもおうえんだん

「失われた20年」の間に、子どものいる現役世帯の平均所得は100万円も下がり、子どもの教育費に事欠く世帯が増加しています。

6人に1人の子どもが貧困というなかで社会的養護施設や里子として育った子どもたちは、18歳で独立しなければならない厳しい現実と直面しています。

子どもたちは良い環境に恵まれば大きな力を発揮します。子どもたちはこの社会の貴重な資源です。しかしそのためには、暖かい目と支援が必要です。私たちはその一旦を担おうとしています。ご支援をお願いします。

(NPO) ちばこどもおうえんだん
こども・若者未来基金運営委員長
宮本みち子

社会的養護で育った子ども・若者の自立を、伴走者ごとおうえんします！

社会的養護下に暮らす子たちの自立への支援は、その必要性の認識は高まりつつあり、民間を中心とした支援も少しずつではありますが整備されようとしています。しかしほとんど後ろ盾のない子たちの自立には困難がついて回ります。いったんは挫折しても再チャレンジしたい、そんな子たちにも寄り添っていききたいと、ちばこどもおうえんだんは給付型「こども・若者未来基金」を設立します。

寄付目標金額 年間 1,000 万円

*リーフレット等が必要な場合は、ご一報ください。

自立にかかるお金は？
アパートを借りる…少なくとも25万円
家賃5万円として、
敷金・礼金・2ヵ月分の家賃など
自動車免許取得…およそ25万円
家財の購入…およそ15万円
大学・専門学校などに進学の場合
入学金+授業料+月々の生活費がかかります。ほとんどの子どもは、アルバイトと奨学金、貯金の取り崩しで賄います。
ダブルワークで、挫折する子ども・・・

夢風ニュース&申込書



映画「おだやかな革命」に協賛します

生活クラブ風車「夢風」は 2015 年の夏から、地域資源を生かして人口減少社会の課題を解決しようとしている地域を取り上げている映画『おだやかな革命』の取材を受けてきました。監督は、在来作物について取り上げたドキュメンタリー映画『よみがえりのレシピ』の渡辺智史さんです。映画はこの夏に完成、公開予定です。

グリーンファンド秋田ではこの映画に協賛することを今回



の理事会で決定しました。

映画は今、最終の編集作業に入っており、クラウドファンディング*での応援も募っています。

(*5月15日プロジェクトが成立しました。)

再生可能エネルギーだけで暮らしていけるようになるの？

再生可能エネルギー（以下、再エネ）は、コストが高いと考えられているようです。日本の現状では高くなっています。再エネのコストの大半は、設備の建設にかかる費用。しかし、そのコストはどんどん下がり、ビジネスとしての価値も高くなってきています。世界のトップ企業が再エネを積極的に取り入れ始め、自社で使う電力を 100% 自然エネルギーにしていく「RE100」キャンペーンにはすでに 87 社が参加していますが、日本の企業はまだ 1 社もありません。

省エネへの取り組みも積極的になっています。ニューヨークのエンパイアステートビルは、2009 年から 6500 枚すべての窓ガラスを断熱ガラスにするなどエコリフォームを行い、冷暖房や照明システムを見直すことでエネルギー消費量を 38% 削減しました。

発電方法を見直すことで、持続可能なエネルギーを生み出すことができ、同時に省エネすることで、将来的に再エネだけで暮らせるようになります。その日を早く迎えるために、そして原発事故のような不幸な出来事をもうこれ以上繰り返さないためにも、暮らし方、エネルギーの使い方を見直していきましょう。

風車の発電実績

2 月の発電量…860,820kWh

3 月の発電量…522,754kWh

*夢風ニュース vol.57、vol.58 より抜粋。
全文は生活クラブ虹の街 HP で公開中です。

コルザ 6 月号

申込書・申請書

配達時または、デポーフロアに提出して下さい。

組合員氏名	組合員番号		申込締切
こんにちは！赤ちゃん♪せっけんプレゼント 申請 (太枠の組合員氏名と番号を記入してください)			1 歳の誕生日の前日までに申請
赤ちゃんの なまえ	ふりがな (男・女)	赤ちゃんの生年月 20 年 月 生まれ	
『コルザ』に掲載してもよろしいですか。 (はい・いいえ)			
コルザアンケート コルザ作成の参考にさせていただきます。			



*せっけんプレゼント希望の方は、申請書に必要事項を記入して提出してください。
対象は組合員のお子さんで、1 歳未満の赤ちゃん。1 歳の誕生日の前日までに申請してください。

*いただいた個人情報は適切に管理し、目的以外には使用しません。

*企画参加希望で詳細を知りたい方は、担当までご連絡ください。

6 月のデポー



イベント案内

デポーのお休み
7月 は 9日
*浦安はオープン

デポー
浦安

7/7(金)リニューアルオープン!
7/7~9 オープンまつり
6/25~7/6は工事のためお休みです。

日	月	火	水	木	金	土
6/4	5 せっけんの街の日 →大津ヶ丘・園生は6 *せっけんの街のせっけんなど5% off 消費材紹介キャンペーン①(～10)	6 W.Co 凡 & 歩ウィーク	7	8 黒豚の日	9 涼味フェア	10 消費材紹介キャンペーン①(～10)
11 お休み	12 父の日 日本酒ウィーク 消費材紹介キャンペーン②(～18)	13	14 朝採り野菜の日	15 ビジョンフードの日	16 父の日フェア(～6/18)	17 ほうきね牛入荷
18 日曜市	19 消費材紹介キャンペーン③(～24)	20 こめやウィーク	21	22 平牧金華豚の日	23 中華フェア	24
25 お休み	26 消費材紹介キャンペーン④(～7/2)	27 マルヨーのり & みえぎよれんウィーク(～7/2)	28	29	30	

消費材紹介キャンペーン①(6/5～10)

週替わりでおすすめ消費材が10%引きに!
ポークウィンナー・プレーンヨーグルト
信州トマトジュース

10%
off

ビオサポ週間(6/5～10) ビオサポ献立と関連消費材を紹介
試食あり。日程はデポーによって違います。右表参照

W.Co 凡 & 歩ウィーク(6/5～10) ギフトでも人気!

「凡」のジャム・シロップと「歩」のクッキーをご紹介します。
おすすめ品がお得です。

牛乳キャンペーン(6/5～18) こだわりの牛乳を改めてご紹介!

牛乳 900ml・ノンホモ牛乳 900ml 10円引
低脂肪牛乳 1000ml 5円引

涼味フェア(6/9・10) さっぱり食べてスタミナ up!

豚肉しゃぶしゃぶ用(バラ・ロース・モモ)
手延べそうめん・そばつゆ・万能つゆ 500ml など

5%
off

消費材紹介キャンペーン②(6/12～18)

肉厚わかめ 300g・焼売

10%
off

父の日 日本酒ウィーク(6/12～18)

父の日に向けて「英君酒造」「杉勇蔵岡酒造場」の日本酒を紹介。
おつまみといっしょにどうぞ。父の日のプレゼントにも。

ビジョンフード牛乳の日(6/15)

6月のテーマは生活クラブを代表する消費材「牛乳」。その特徴やおいしい食べ方などを、試食とともにご紹介していきます。
牛乳キャンペーン実施中です。

父の日フェア(6/16～18)

開拓牛のステーキ用アイテム・冷凍まぐろ 5% off
*みつわ台(6/16)・新松戸(6/17)は生まぐろ解体。
おつまみ用野菜とメロン類もおすすめ。

消費材紹介キャンペーン③(6/19～24)

丸大豆醤油 900ml・なたね油角缶 10% off
おさかなソーセージらくリッパ

こめやウィーク(6/19～24)

かまぼこやちくわなど、添加物を使わない練り製品を紹介。
おすすめ品 5% off

生まぐろ解体: 6/16 みつわ台 6/17 新松戸

*水揚げのない場合は冷凍まぐろが入荷



ビオサポの日

毎週、デポーごとにビオサポメニューの試食等をご用意!

6/5	みつわ台
6/6	真砂・浦安・大津ヶ丘
6/7	木刈・園生
6/8	新松戸
6/9	松葉町

日曜市(6/18)

・ジュース類は特別箱値引き
通常の箱値引きよりさらにお得
・日曜青果市で季節の野菜果物もお得!
レシピ提案: 豚ひき肉とじゃが芋の
マヨマスタート焼き

豚ひき肉・中濃ソース 5% off



デポーで、つくった人に会ってみよう!

6/5	W.Co 歩(クッキー): みつわ台/AM、園生/PM
6/6	W.Co 歩(クッキー): 真砂
6/7	W.Co 凡(ジャム・シロップ): 木刈
6/10	W.Co 凡(ジャム・シロップ): 松葉町/AM 新松戸/PM

平牧金華豚の日(6/22) ギフトで人気の平牧金華豚が月1回入荷
きめ細かい肉質と芳醇な味わい...プレミアムな豚肉をぜひ!

中華フェア(6/23・24) しっかり食べて夏に備えましょう!

三元豚の薄切り肉(ロース・肩ロース)・
牛肉肩ロース薄切り・豆板醤・ごま辛味オイル 5% off
牡蠣味調味料・ごま油(300g・500g)

消費材紹介キャンペーン④(6/26～7/2)

ジュシーパリ旨ポークウィンナー・ハミガキ
マルヨーのり & みえぎよれんウィーク(6/26～7/2)

2つの生産者の 佃煮・ふりかけ(マルヨーのり)、
キズのり・こめひじきなど(みえぎよれん)をご紹介します。

10%
off